

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

## ロームシアター京都・京都コンサートホール・京都市文化会館の運営について

ロームシアター京都、京都コンサートホール、京都市文化会館<sup>(※)</sup>は、文化芸術の創造・発信、文化活動の拠点として市民の皆様幅広く御利用いただいております。

将来にわたって施設を運営できるよう、令和5年4月1日に利用料金の改定を予定しています。引き続き更なる効率化や稼働率の向上に努めてまいりますので、御理解の程、よろしくお願いいたします。

(※) 北文化会館、東部文化会館、右京ふれあい文化会館、西文化会館ウエスティ、呉竹文化センター

### 収入と支出

<b>&lt;主な改正内容&gt; ※上限額（実際の料金は指定管理者の公募結果等を踏まえて決定します。）</b>	
・ロームシアター京都	
メインホール（土日祝・午前）	226,280円→271,540円
・京都コンサートホール	
大ホール（土日祝・午前）	359,330円→431,200円
・京都市文化会館	
ホール（土日祝・午前）	48,190円→53,010円 等

**<支出> 利用者1人当たり 1,710円（総額 16.36億円（うち、大規模改修費用1.3億円））**

運営経費 1,710円
-------------

**<収入> 利用者1人当たり 820円（総額 7.82億円）**

利用料	(改定前) 差額 970円 (57%)
(改定前) 740円 (43%)	(改定後) 差額 890円 (52%)
(改定後) 820円 (48%)	<u>市民の税金で負担（公費で負担）</u>

いずれも概数  
10円単位で四捨五入

※ロームシアター京都、京都コンサートホール、京都市文化会館（5館）計7館全体で算定

- 公費負担がない場合、利用者1人当たり1,710円の御負担が必要なところ、改定後においても、890円の公費負担を継続し、利用者負担の増加を可能な限り抑制しています。
- 施設を利用しない方も含めた市民の負担（公費負担）により、現行の利用料金で施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担（施設使用料等）と公費負担（市民の皆様にご納めいただく税金）などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状態に応じた収支改善の取組（維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等）を進めてまいります。